

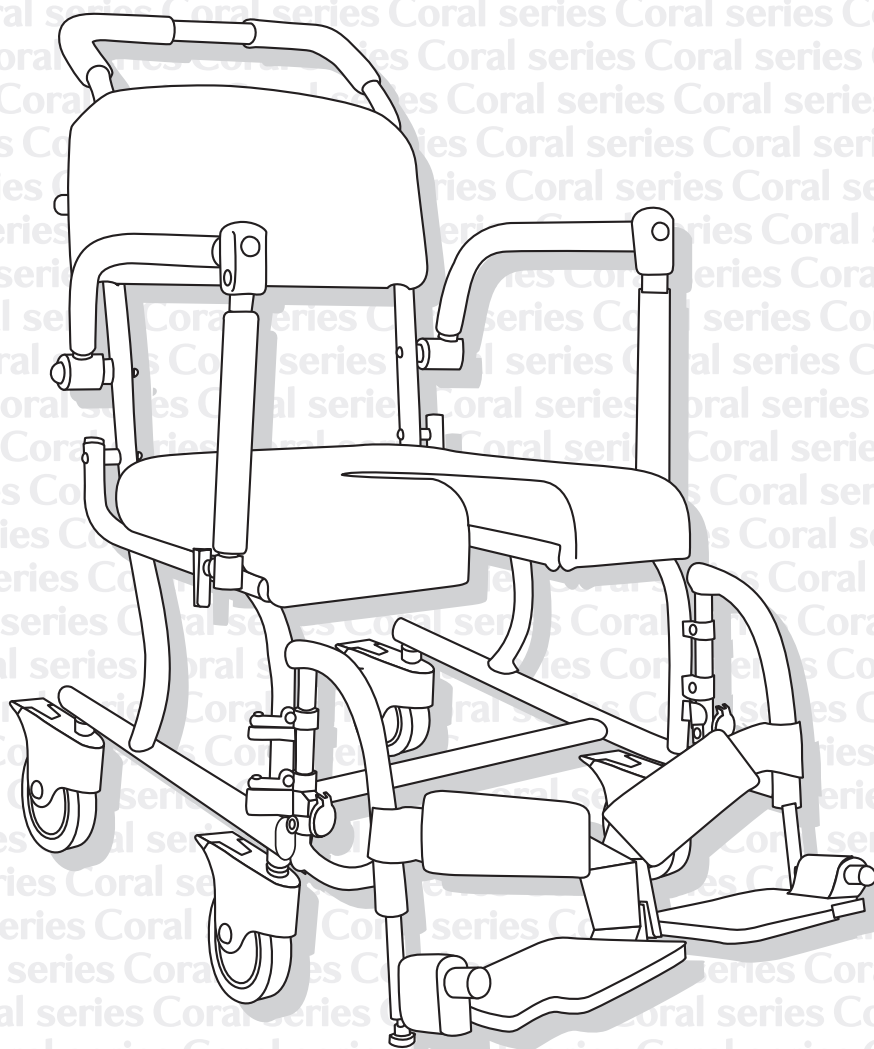
マツナガの入浴補助用具



# シャワーキャリートイレキャリー

取扱説明書

保存用  
保証書付



愛の輪  
愛のいす



MATSUNAGA

このたびは、(株)松永製作所の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意  
事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に、必ずお読みください。  
また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

シャワーキャリー・トイレキャリーが、使用者の身体に合わない状態でご使用にならないでください。  
健康をそこなう恐れがあります。そのような場合は、購入されたお店にご相談ください。

- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または直接弊社までお問い合わせください。

## 付属品



取扱説明書

# 目次

<b>安全にお使いになるためのご注意</b>	2
<b>機種別機能一覧表</b>	5
<b>仕様</b>	5
<b>各部の名称</b>	6
<b>寸法表</b>	8
<b>シャワーキャリー・トイレキャリーの広げ方・折りたたみ方</b>	9
広げ方	9
折りたたみ方	9
<b>安全にお使いになるための使用方法</b>	10
背パットの上下調整	10
座パットの取り付け方	10
アームサポート	11
スイングアウトの取り外し方	12
フットサポート	12
フットサポートの長さ調整	13
レッグサポートの長さ調整	13
4インチ ストッパー付キャスタ	13
7インチ キャスタブレーキ	14
ティッピングレバー	14
フロントグリップ	14
座面の高さ調整	15
<b>使用方法</b>	16
乗り方	16
降り方	17
移動の仕方	18
浴室での使い方	19
トイレでの使い方	19
<b>もしこんなトラブルが発生したときは</b>	20
<b>お手入れの方法</b>	20
保管場所・保証・アフターサービス	21
保証書	21

# 安全にお使いになるためのご注意



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

### お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

## 警告

■故障・異常のある場合は、ただちに使用を中止してください。  
そのまま使用されますと、転倒・転落事故等の原因となります。

■デラックスタイプのティッピングレバーを踏んだ時、前輪を100mm以上浮かせないでください。  
重心が後方に移り、シャワーキャリー・トイレキャリーが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

■後輪が段差を乗り越える時に、後方を持ち上げないでください。  
使用者が前方に傾き、転倒・転落事故等の原因となります。

■スタンダードタイプのシャワーキャリー・トイレキャリーでは、段差のあるところ（敷居を含む）では使用はしないでください。  
スタンダードタイプは、段差を乗り越える設計をしておりませんので、不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

■フットサポートの上に足をのせて乗り込んだり、降りる時、フットサポートの上に立ち上がったりしないでください。  
シャワーキャリー・トイレキャリーがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

■シャワーキャリー・トイレキャリーを浴槽（水中）に沈めて使用しないでください。  
本体の腐食による破損、また、使用者や介助者のケガの原因となります。

■改造をしないでください。  
改造により、転倒・転落事故等の原因となります。

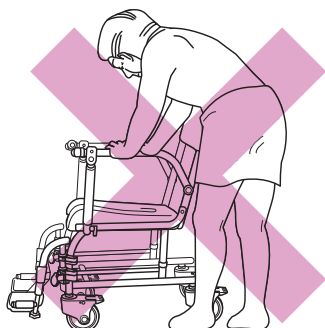
■使用者を乗せたまま、シャワーキャリー・トイレキャリーごと持ち上げないでください。  
転倒・転落事故等の原因や本体の破損の原因となります。

### (禁止)

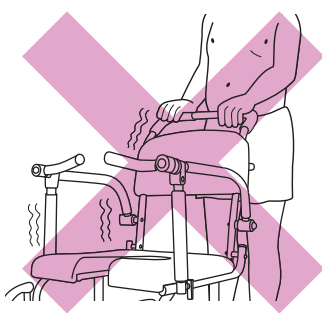


しては  
いけない

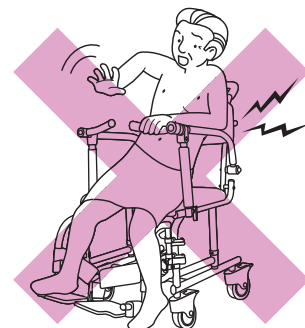
■座る時や立ち上がる時、アームサポートや座面の片側だけに手をつけて支えにしたり、アームサポートを手すり代わりにして、横方向に力をかけないでください。  
転倒事故の原因となります。




■使用者が押手を支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。  
転倒事故の原因となります。



■上体を横方向に大きく傾けるなどして、本体の片側に無理な荷重をかけないでください。  
転倒・転落事故や、破損してケガをする原因となります。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本品を他の用途で使用しないでください。 事故、ケガの原因となります。</li> <li>■シャワーキャリー・トイレキャリーの座面の上で立ち上がらないでください。 転倒・転落事故の原因となります。</li> <li>■使用者体重が75kg以上の場合、使用しないでください。 本体の破損、転倒・転落事故等の原因となります。</li> </ul>
<p><b>(強制)</b></p> <p></p> <p>必ずして いただく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■バックサポートを起こしたとき『カチッ』と音がし、ロックピンがロックプレートの溝の奥まで入り、左右とも完全にロックされていることを確認してください。 使用中、バックサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■バックサポートをロックした後は、必ずニーサポートをロックし、完全にロックされていることを確認してください。 転倒・転落事故、ケガ等の原因となります。</li> <li>■背パット高さ調整レバーのナットをしめた後、必ずレバーを倒して完全に固定してください。 背パットが緩み出して動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■背パットの高さ調整後、また使用前は、背パットが完全に固定されていることを確認してください。 背パットが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■座パット固定時に『パチン』と音が鳴り、確実に固定されていることを確認してください。 座パットが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■使用時は、必ずアームサポートを元の位置に戻し、完全にロックされていることを確認して使用してください。 誤ってニーサポートが外れてしまうとアームサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■アームサポートの跳ね上げ・ロックの際は、使用者の体や腕などが挟まれる恐れはないか確認してから行ってください。 ケガ等の原因となります。</li> <li>■フットサポートの長さは床面より40mm以上の高さを確保してご使用ください。 敷居等の段差にフットサポートやノブボルトが引っかかり、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■移乗時や浴室・トイレでの作業時などの駐車時は、キャストのブレーキをかけてください。 不意にシャワーキャリー・トイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■トイレキャリーの場合、座面の高さ調整後、また、使用前は、4箇所の高さ調整ピンが、確実にロックされていることを確認してください。 シャワーキャリー・トイレキャリーがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■4箇所共、同じ穴位置でロックピンを固定し、座面高さが同じになるようにしてください。</li> <li>■ご使用前には、必ず、次のことを確認してください。 守らないと、ご使用中、可動部分が動き、転倒・転落事故等の原因となります。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・バックサポートが確実にロックされていること</li> <li style="width: 50%;">・座パットが確実に固定されていること</li> <li style="width: 50%;">・背パットが完全に固定されていること</li> <li style="width: 50%;">・フットサポートが完全に固定されていること</li> <li style="width: 100%;">・座面の高さ調整ピンが4箇所とも確実に、ロックされていること(トイレキャリーのみ)</li> </ul> </div> </li> <li>■シャワーキャリー・トイレキャリーの乗り降りの際や、作業時は、平坦な場所で行ってください。 シャワーキャリー・トイレキャリーが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■使用時は、必ず、アームサポート、フット・レッグサポートが確実にロックされていることを確認して使用してください。 アームサポートやフット・レッグサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■乗り移り時は、必ず、キャストがロックされていることを確認してください。 不意にシャワーキャリー・トイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■スロープ等、傾斜のある所では使用しないでください。 ケガ等の原因となります。</li> <li>■浴室での使用時は、平坦な場所で作業してください。 傾斜がある所では、シャワーキャリーが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。</li> <li>■必ず、介助者が付き添って使用してください。 転倒・転落事故等の原因となります。</li> </ul>

## 注意

### (禁止)



しては  
いけない

- 座パット裏の固定クリップの位置がパイプからずれたままで、上から押えないでください。  
固定クリップが破損する恐れがあります。
- 温泉水や硫黄系の入浴剤を入れた水はかけないでください。  
本体の腐食による破損、またそのことによる使用者や介助者のケガ等の原因となります。
- 塩素系薬剤、酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジンによる殺菌・消毒や、温泉水・硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。  
パイプの腐食の原因や樹脂部品の劣化につながり、破損してケガをする原因となります。
- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は使用しないでください。  
樹脂部品が劣化または、破損してケガをする原因となります。
- 直射日光に当てないでください。  
樹脂部品が劣化(変形または変質)し、破損してケガをする原因となります。
- 熱湯をかけないでください。  
樹脂部品が変形し、破損してケガをする原因となります。
- 屋外では使用しないでください。  
転倒・転落事故等の原因となります。
- ストーブ等の火気に近づけないでください。  
パットが燃え、火災の原因となります。また、本体が熱くなり、やけどをする恐れがあります。
- アームサポートを持って、シャワーキャリー・トイレキャリーを持ち上げないでください。  
本体や部品の破損、ケガ、転倒・転落事故等の原因となります。

### (強制)



必ずして  
いただく

- バックサポートを折りたたむときは、まず、ニーサポートのロックを解除し、折りたたんでください。  
無理に折りたたもうとすると、本体の破損の原因となります。
- フロントグリップを外側に開いてから、アームサポートを跳ね上げてください。  
フロントグリップを開かずにアームサポートを跳ね上げると、体に当たり、ケガ等の原因となります。
- 使用時は、スイングアウトのロックレバーが確実にされていることを確認してください。  
足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。
- 可動部や取り外し・取り付け操作時に、手を挟まないように注意してください。
- フットサポートの長さ調整後、使用前は、フットサポートが完全に固定されていることを確認してください。  
フットサポートが下がり、ケガ等の原因となります。
- レッグサポートの長さは、4インチストッパー付キャストが回転しても、かかととキャストが当たらない長さであることを確認してください。  
かかとがキャストに当たり、ケガ等の原因となります。
- 4インチキャストは、使用后、ブレーキをかけるための車輪を押さえる(凸凹形状)部分のゴミなどを取り除いてください。  
ゴミがたまると、車輪が回転しにくくなります。
- 移動中、つま先が障害物に当たらないように確認して移動してください。  
ケガ等の原因となります。また、移動中はフットサポートから足が落下していないか確認してください。
- フットサポートに足が乗っているか、足が床に触れていないか確認して移動してください。  
ケガ等の原因となります。

# 機種別機能一覧表

機能	品番	シャワーキャリー			トイレキャリー		
		スタンダード	デラックス		スタンダード	デラックス	
		SW-11	SW-11W	SW-11S	SW-21	SW-21W	SW-21S
背パット高さ調整		●	●	●	●	●	●
アームサポート		●	●	●	●	●	●
フット・レッグサポート スイングアウト		●	●	●	●	●	●
フットサポート 高さ調整		●	●	●	●	●	●
全輪 4インチキャスト		●			●		
前輪に4インチキャスト 後輪に7インチキャスト			●	●		●	●
ティッピングレバー			●	●		●	●
フロントグリップ			●	●		●	●
敷居程度の 段差の移動		禁止	●	●	禁止	●	●
トイレでの使用					●	●	●
座面高さ調整					●	●	●

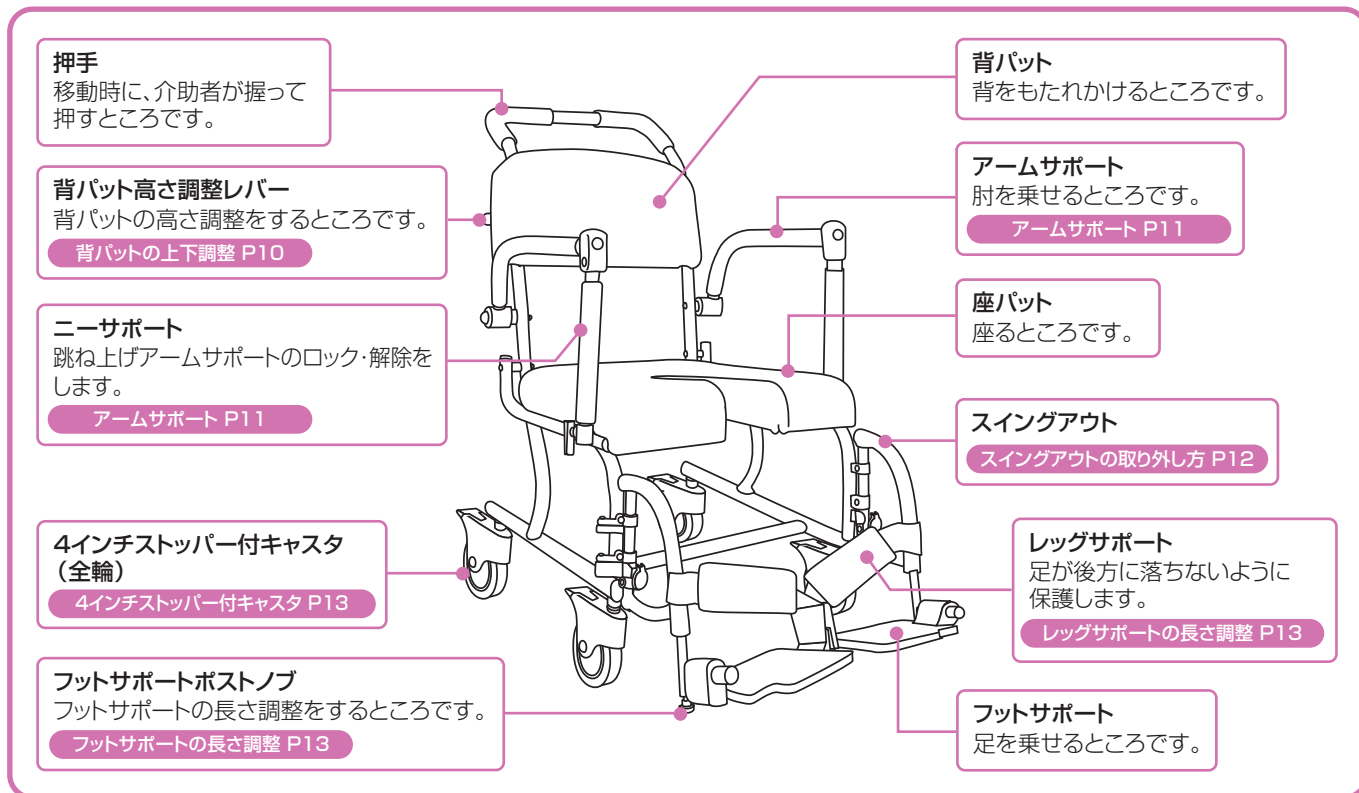
## 仕様

本体	アルミニウム・ステンレス(一部)			
パット	発泡ウレタン			
座面寸法	幅440mm×奥行410mm			
背パット寸法	幅400mm×高さ200mm			
車輪	スタンダード		デラックス	
	全輪:4インチ		前輪:4インチ、後輪:7インチ*	
重量(kg)	SW-11	SW-11W/S	SW-21	SW-21W/S
	11.3	12.5	11.6	12.7

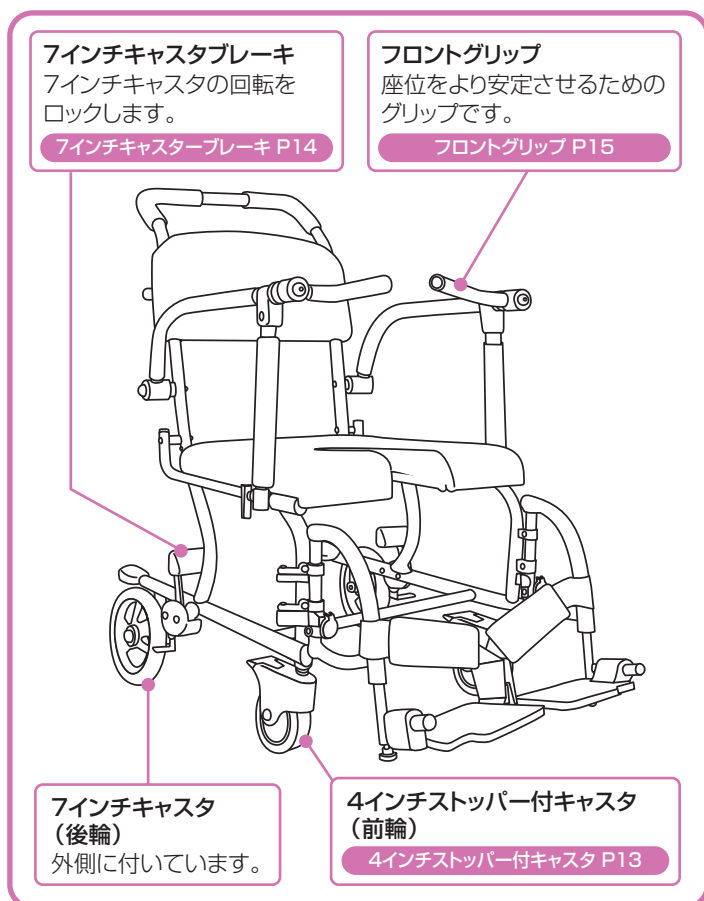
※SW-11W/21Wは、後輪がフレームの外側  
SW-11S/21Sは、後輪がフレームの内側に組付けられています。

# 各部の名称

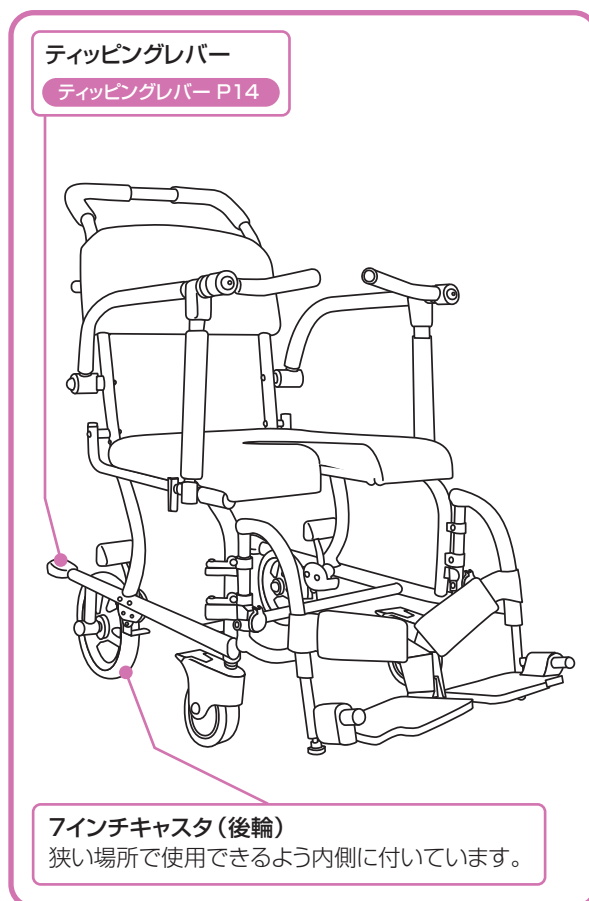
## シャワーキャリアスタンダード SW-11



## シャワーキャリアデラックス (ワイド) SW-11W



## シャワーキャリアデラックス (スマート) SW-11S





## トイレキャリースタンダード SW-21

### 押手

移動時に、介助者が握って押すところです。

### 背パット高さ調整レバー

背パットの高さ調整をするところです。

背パットの上下調整 P10

### ニーサポート

跳ね上げアームサポートのロック・解除をします。

アームサポート P11

### トイレキャリー本体フレーム

### 座面高さ調整ピン

座面の高さ調整をするところです。

座面の高さ調整 P15

### トイレキャリーベースフレーム

### 背パット

背をもたれかけるところです。

### アームサポート

肘を乗せるところです。

アームサポート P11

### 座パット

座るところです。

### スイングアウト

スイングアウトの取り外し方 P12

### レッグサポート

足が後方に落ちないように保護します。

レッグサポートの長さ調整 P13

### フットサポート

足を乗せるところです。

## トイレキャリーデラックス(ワイド) SW-21W

### 7インチキャストブレーキ

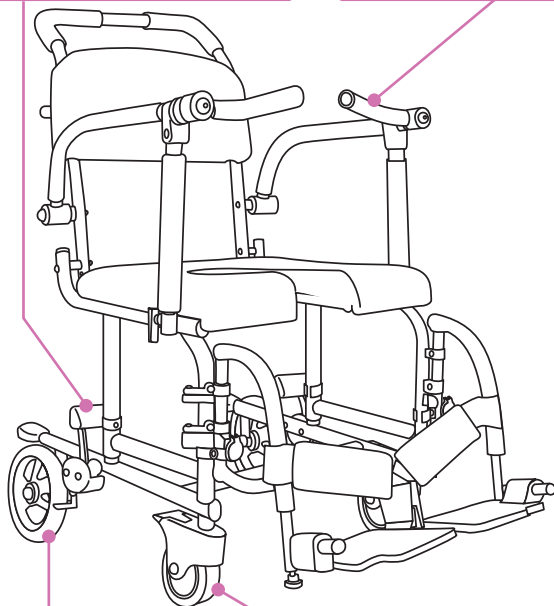
7インチキャストの回転をロックします。

7インチキャストブレーキ P14

### フロントグリップ

座位をより安定させるためのグリップです。

フロントグリップ P15



### 7インチキャスト(後輪)

外側に付いています。

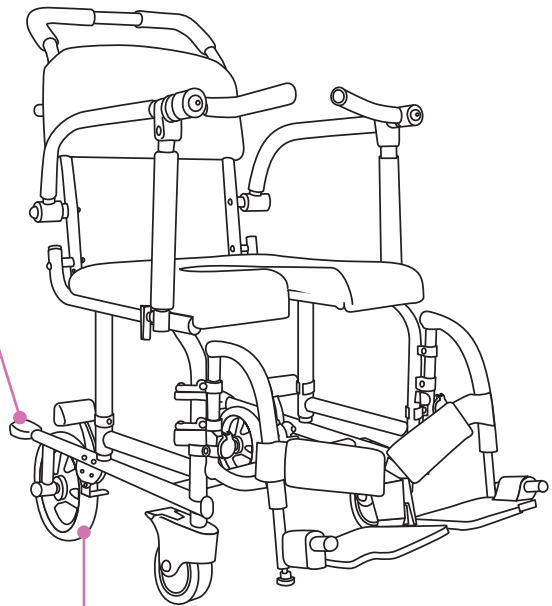
### 4インチストッパー付キャスト(前輪)

4インチストッパー付キャスト P13

## トイレキャリーデラックス(スマート) SW-21S

### ティッピングレバー

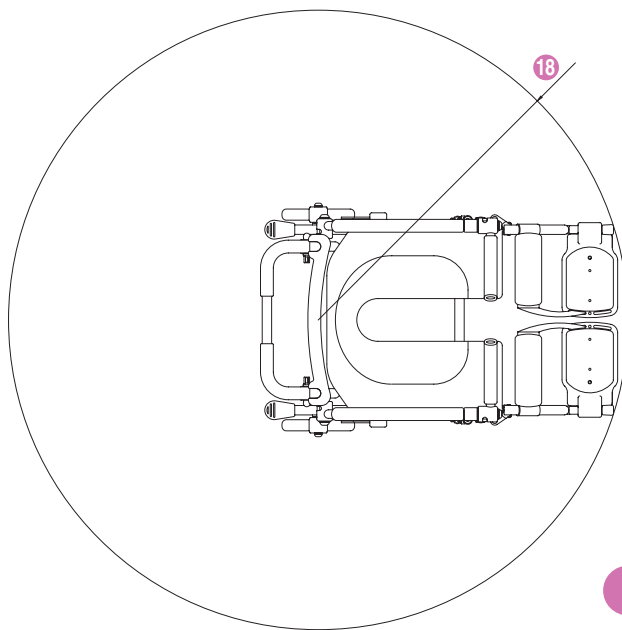
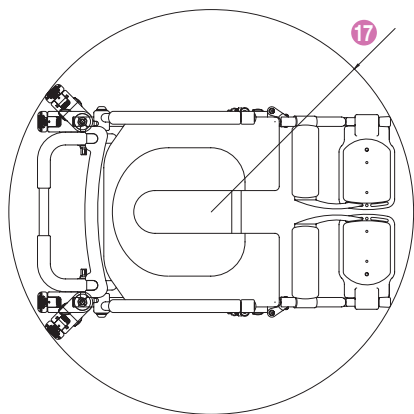
ティッピングレバー P14



### 7インチキャスト(後輪)

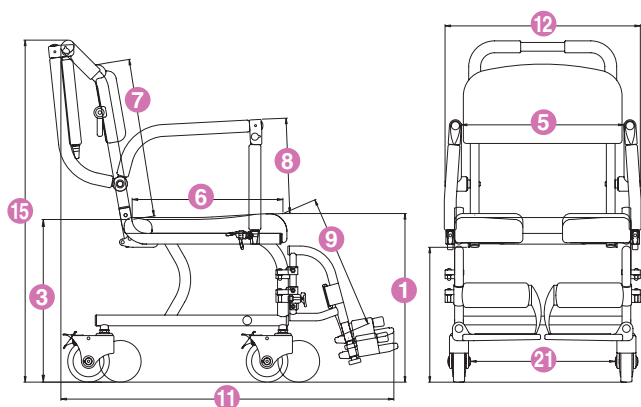
狭い場所で使用できるように内側に付いています。

# 寸法表

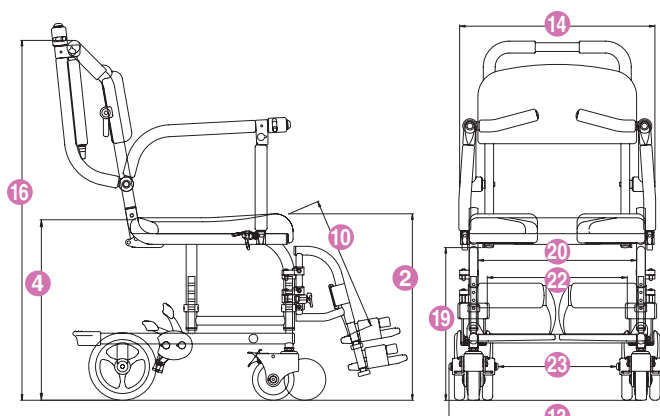


## スタンダード

## デラックス



イラストは、シャワーキャリアスタンダード「SW-11」



イラストは、トイレキャリアデラックス「SW-21W/S」

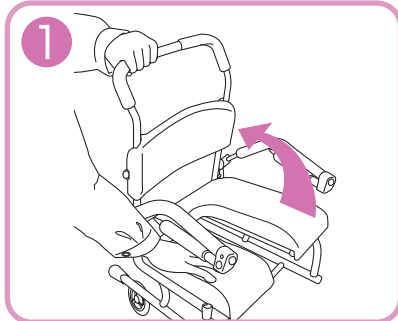
単位:mm

	シャワーキャリア			トイレキャリア		
	スタンダード	デラックス		スタンダード	デラックス	
	SW-11	SW-11W	SW-11S	SW-21	SW-21W	SW-21S
前座高	① 425			② 470・490・510・530		
後座高	③ 410			④ 455・475・495・515		
⑤ アームサポート内々幅	410					
⑥ 座奥行	380					
⑦ 背もたれ高さ	300~400 (無段階)					
⑧ アームサポート高さ	240					
フットサポート長さ	⑨ 340~380 (無段階)			⑩ 340~410 (無段階)		
⑪ 全長	839					
全幅	⑫ 492	⑬ 546	⑭ 492	⑫ 492	⑬ 546	⑭ 492
全高	⑮ 862			⑯ 907		
折りたたみ高さ	574			619		
最小回転半径	⑰ 473	⑱ 724		⑰ 473	⑱ 724	
トイレ座面下高さ				⑲ 385・405・425・445		
トイレ座面下内々幅				⑳ 400		
トイレ車輪内々最小幅	㉑ 364			㉒ 353		㉓ 298

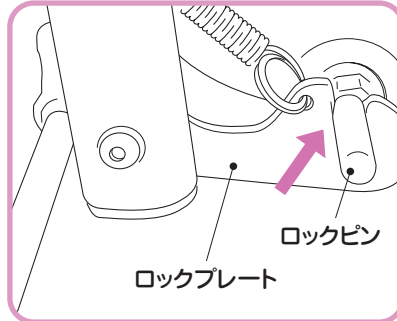
# シャワーキャリー・トイレキャリーの拡げ方・折りたたみ方

## 拡げ方

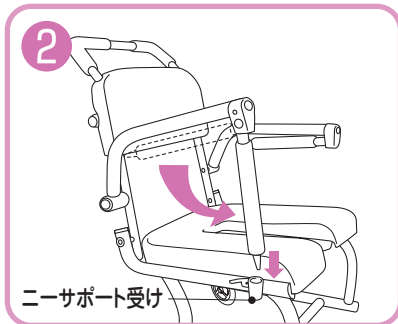
- ① 座パットを押さえながら、押手を持ち、バックサポートを起こして、ロックする。



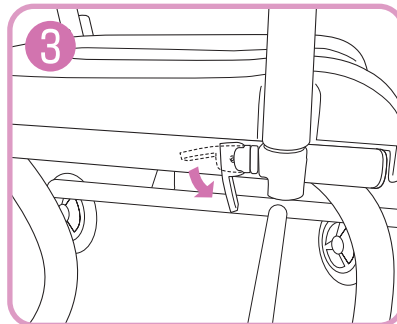
〈ロックされた状態〉



- ② ニーサポートを下に開き、ニーサポート受けに差し込む。



- ③ ニーサポートレバーを倒し、ニーサポートをロックする。



### 警告

- バックサポートを起こしたとき『カチッ』と音がし、ロックピンがロックプレートの溝の奥まで入り、左右とも完全にロックされていることを確認してください。  
バックサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

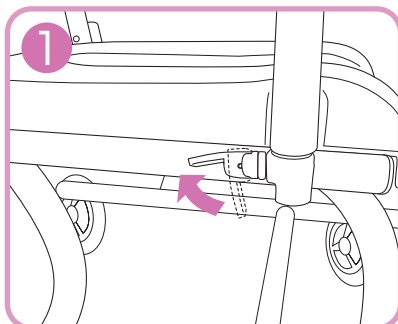
### 警告

- バックサポートをロックした後は、必ずニーサポートをロックし、完全にロックされていることを確認してください。  
転倒・転落事故、ケガ等の原因となります。

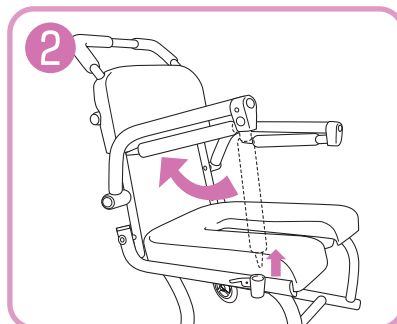
していただく

## 折りたたみ方

- ① ニーサポートレバーを起こし、ニーサポートのロックを解除する。



- ② ニーサポートを抜き、折りたたむ。



### 注意

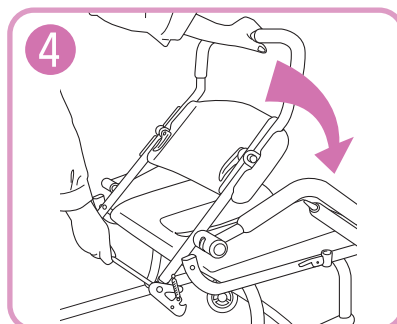
- バックサポートを折りたたむときは、ニーサポートのロックを解除し、折りたたんでから、行ってください。  
無理に折りたたみを行うと、本体の破損の原因となります。

していただく

- ③ 押手を持ち、ロックレバーを上方に持ち上げ、ロックを解除する。



- ④ ロックレバーを持ち上げたまま、押し手を持ち、背もたれを座面まで倒す。

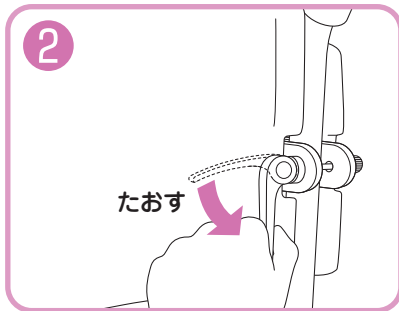
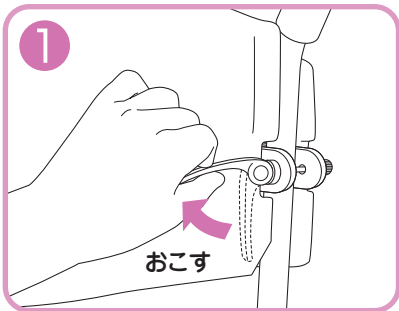


# 安全にお使いになるための使用方法

## 背パットの上下調整

●使用者の身体状態に応じて、背パットの高さを調整することができます。また、背中上部や下部を洗うなど、状況によって、背パットの高さを変えることができます。

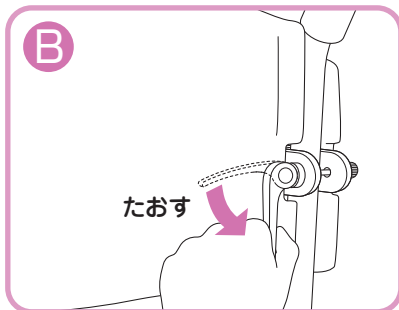
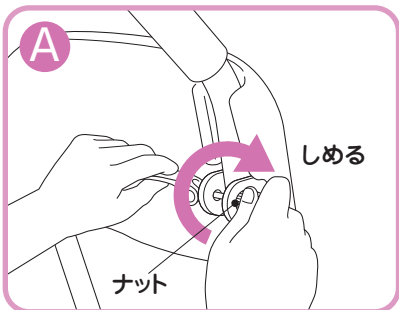
- ① 高さ調整レバーを起こし、高さを合わせる。
- ② 高さが決まったところで、高さ調整レバーを倒す。



●レバーを倒しても、背パットが完全に固定されていない場合は、レバーナットが緩んでいますので、下記手順にてしめ直してください。

- A 高さ調整レバーを起こし、レバーナットを締める。

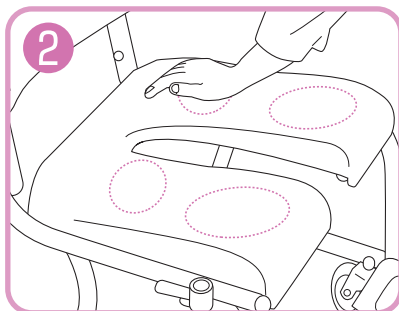
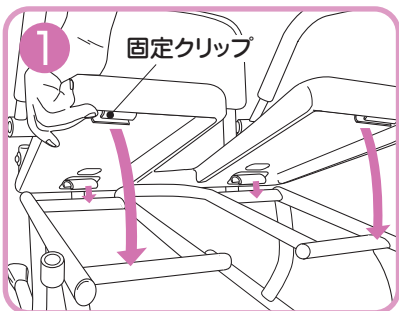
- B 高さ調整レバーを倒す。



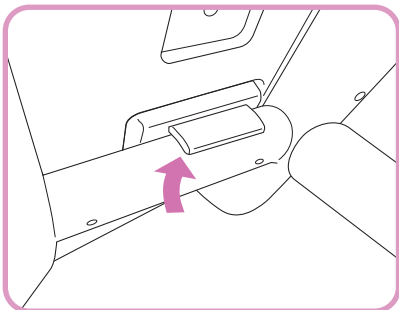
## 座パットの取り付け方

●座パットを洗う場合や、新品に交換される場合は、取り外しができます。

- ① 座パット裏の4箇所の固定クリップをパイプに合わせる。
- ② 1箇所ずつ、座パットの上面から押える。



固定された状態



## 高さ調整レバー (クイックレバー)

このレバーは、レバーを起こすと緩み、レバーを倒すことによって、完全に締めつける仕組みになっていますので、固定をするときは、必ず最後にレバーを倒してください。

### 警告

●背パット高さ調整レバーのナットをしめた後、必ずレバーを倒して完全に固定されているか確認してください。

背パットが緩み出して動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### 警告

●背パットの高さ調整後、また使用前は、背パットが完全に固定されていることを確認してください。

使用中、背パットが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### 注意

●座パット裏の固定クリップの位置がパイプからずれたままで、上から押えないでください。

固定クリップが破損する恐れがあります。

してはいけない

### 警告

●座パット固定時に、『パチン』と鳴り、確実に固定されていることを確認してください。

使用中、座パットが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

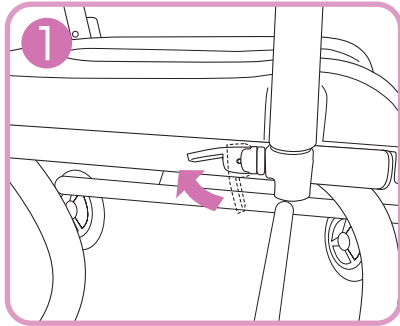
していただく

## アームサポート

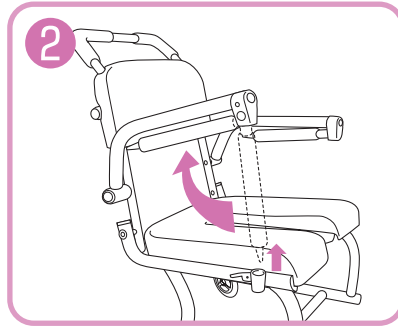
- アームサポートを後方に跳ね上げると、広いスペースが取れ、乗り移りがしやすくなります。

### アームサポートの跳ね上げ方

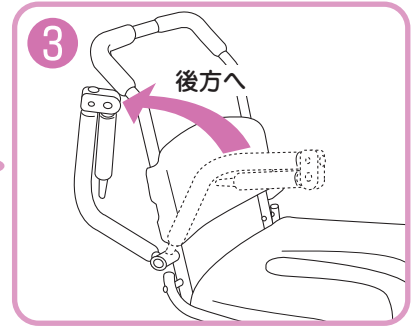
- ① レバーを起こし、ニーサポートのロックを解除する。



- ② ニーサポートを抜き、折りたたむ。

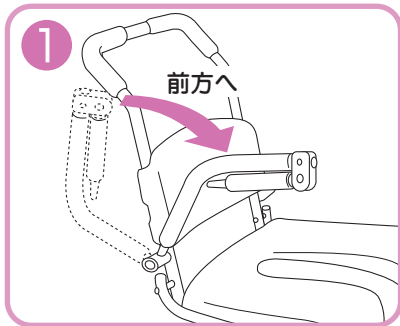


- ③ アームサポートを後方に跳ね上げる。

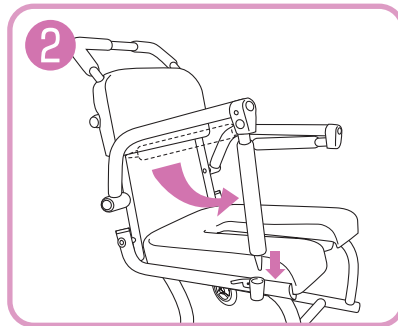


### アームサポートのロックの仕方

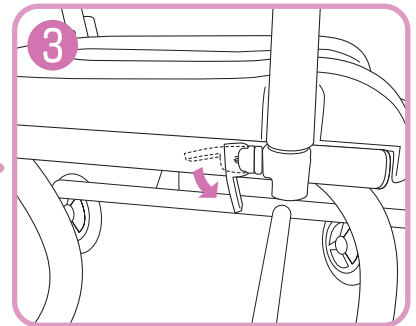
- ① アームサポートを前方に下ろす。



- ② ニーサポートを下に開き、ニーサポート受けに差し込む。



- ③ レバーを倒し、ニーサポートをロックする。



### 警告

- 使用時は、必ずアームサポートを元の位置に戻し、ニーサポートが完全にロックされていることを確認して使用してください。

使用中、誤ってニーサポートが外れてしまうとアームサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### 警告

- アームサポートの跳ね上げ・ロックの際は、使用者の体や腕などが挟まれる恐れはないか確認してから行ってください。

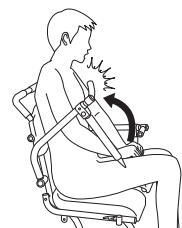
ケガ等の原因となります。

していただく

### 注意

- アームサポートを跳ね上げる場合は、必ず先に、フロントグリップを外側に開いてから、アームサポートを跳ね上げてください。

フロントグリップを開かずにアームサポートを跳ね上げると、体に当たり、ケガ等の原因となります。



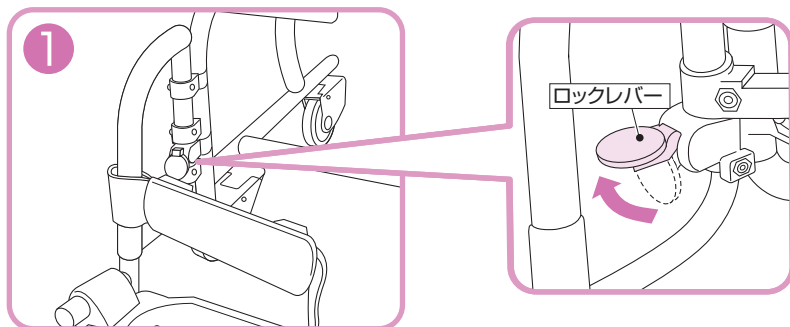
していただく

## スイングアウト

- フット・レッグサポートをスイングアウト（外開き）したり、取り外すことにより乗り移りがしやすくなります。

### スイングアウトの取り外し方

ロックレバーを矢印方向に上げ、ロックを解除します。

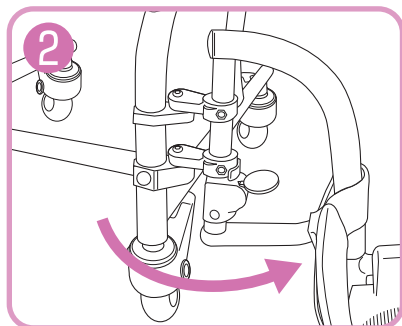


### ⚠ 注意

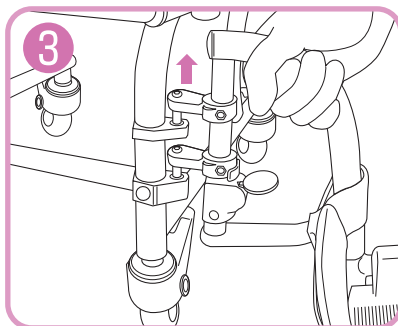
- 使用時は、スイングアウトのロックが確実にされていることを確認してください。足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。

していただく

- ② フット・レッグサポートを開くように外側に回転させます。



- ③ フット・レッグサポートを取り外すときは、外側に回転した状態から上に持ち上げてください。



### ⚠ 注意

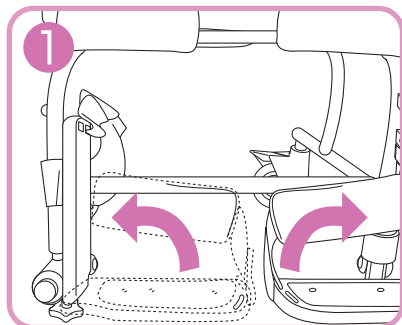
- スイングアウトや取り外し・取り付け操作時に、手をはさまないように注意してください。

していただく

## フットサポート

- フットサポートを跳ね上げ、スイングアウトを取り外すと、ベッド等へ近づくことができ、乗り移りがしやすくなります。
- 乗り降りの際は、必ずフットサポートを跳ね上げてください。フットサポートの上に足を乗せたまま降りようとすると、シャワーキャリー・トイレキャリーが転倒し、大変危険です。

- ① フットサポートを跳ね上げる。



- ② 乗り降りする。

### ⚠ 警告

- フットサポートの上に足をのせて乗り込んだり、降りる時、ステップの上に立ち上がりたりしないでください。シャワーキャリー・トイレキャリーがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

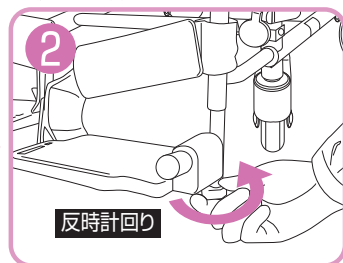
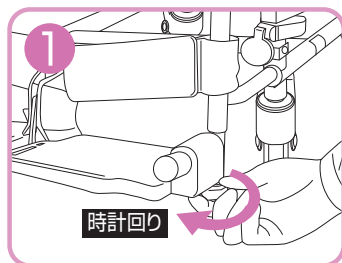
してはいけない

## フットサポートの長さ調整

●足の長さに合わせて、フットサポートの長さを調整できます。

① ポストノブを緩める。

② 長さを合わせ、ポストノブを完全に締めます。



### ⚠ 注意

●フットサポートの長さ調整後、使用前は、フットサポートが完全に固定されていることを確認してください。

使用中、フットサポートが下がり、ケガ等の原因となります。

していただく

### ⚠ 警告

●フットサポートの長さは床面より40mm以上の高さを確保してご使用ください。

敷居等の段差にフットサポートやノブボルトが引っかかり、転倒・転落事故等の原因となります。

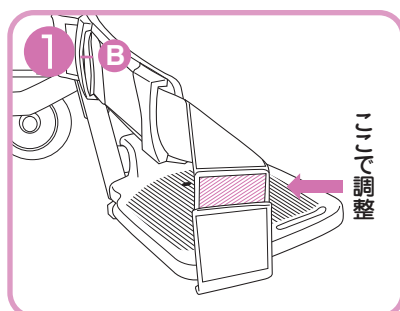
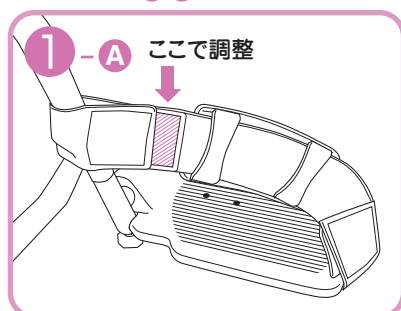
していただく

## レッグサポートの長さ調整

●フットサポートの長さに合わせて、レッグサポートの長さを調整できます。

\*フットサポートが最も短い時は、レッグサポートの長さも最も短い状態でご使用ください。

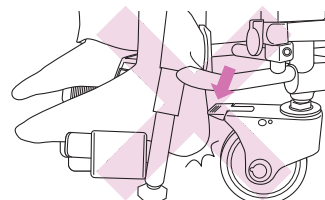
① レッグサポートの長さは、A Bどちらか、もしくは、A B 2箇所合わせて長さ調整する。



### ⚠ 注意

●レッグサポートの長さは、4インチ ストッパー付キャストが旋回しても、かかととキャストが当たらない長さであることを確認してください。

使用中、かかとがキャストに当たり、ケガ等の原因となります。



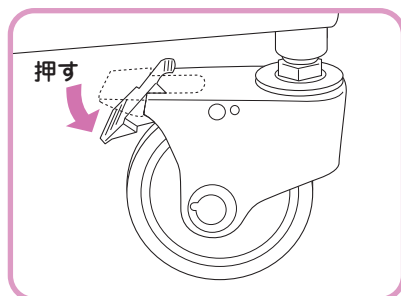
していただく

## 4インチ ストッパー付キャスト

●旋回フリーキャストです。ロックペダルを押すと、ブレーキがかかり、キャストの旋回と車輪の回転がロックされます。

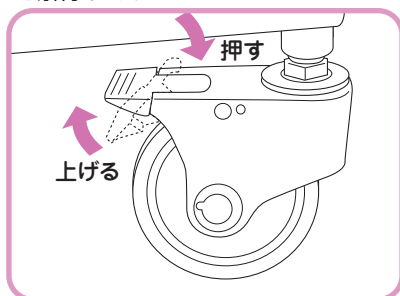
### ロックの仕方

ロックペダルを押し、ブレーキをかける。



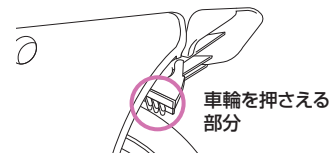
### 解除の仕方

ロックペダルの前方を押すか、または、ロックペダルの後方を上げ、ブレーキを解除する。



### ⚠ 注意

●4インチキャストは、使用后、ブレーキをかけるための車輪を押さえる(凸凹形状の部分)のゴミなどを取り除いてください。ゴミがたまると、車輪が回転しにくくなります。



していただく

### ⚠ 警告

●移乗時や浴室・トイレでの作業時などの駐車時は、キャストのブレーキをかけてください。

不意にシャワーキャリー・トイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

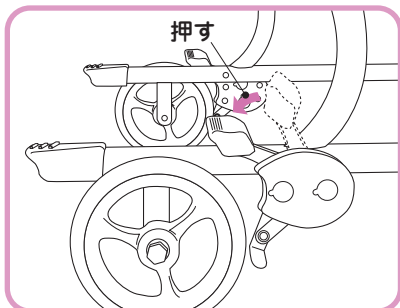
## フィンチ キャスタブレーキ

\*対応機種:デラックスタイプ

●フィンチキャストのブレーキです。ブレーキペダルを押すと、ブレーキがかかり、車輪の回転がロックされます。

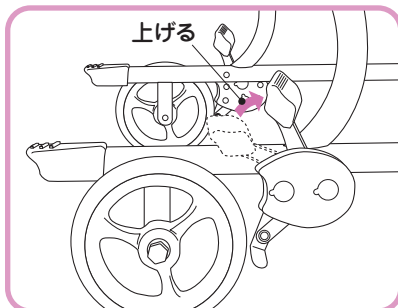
### ロックの仕方

ロックペダルを押し、ブレーキをかける。



### 解除の仕方

ロックペダルを上げ、ブレーキを解除する。



## 警告

- 移乗時や浴室・トイレでの作業時などの駐車時は、キャストのブレーキを必ずかけてください。不意にシャワーキャリー・トイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

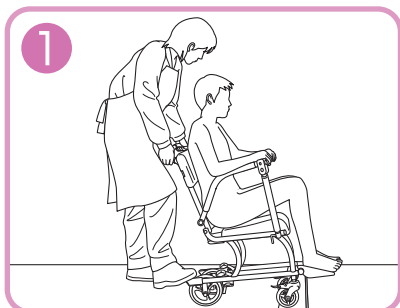
## ティッピングレバー

\*対応機種:デラックスタイプ

●段差を乗り越える際に、介助者がティッピングレバーを踏むと乗り越えやすくなります。

① ティッピングレバーを踏み、前輪を浮かせ、押手を手前に引き寄せる。

② 前輪が段差を乗り越えたら、そのまま前進する。



### 警告

●ティッピングレバーを踏んだ時、前輪を100mm以上浮かせないでください。重心が後方に移って、シャワーキャリー・トイレキャリーが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

してはいけない

### 警告

●後輪が段差を乗り越える時に、後方を持ち上げないでください。使用者が前方に傾き、転倒・転落事故等の原因となります。

してはいけない

### 警告

■スタンダードタイプのシャワーキャリー・トイレキャリーでは、段差のあるところ（敷居を含む）でのご使用はしないでください。スタンダードタイプは、段差を乗り越える設計をしておりませんので、不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

してはいけない

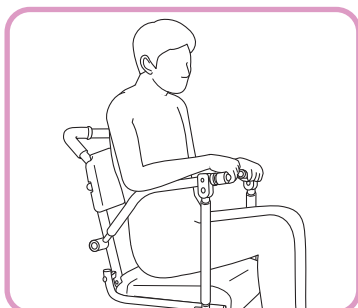
## フロントグリップ

\*対応機種:デラックスタイプ

●使用時に座位が不安定な方は、フロントグリップを握っていただくことによって、より安定感が得られます。

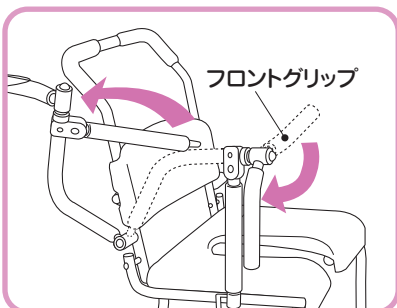
### 使用時

フロントグリップを内側に倒す。



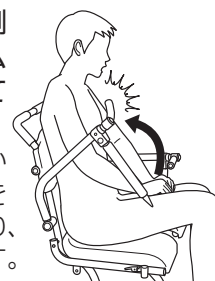
### 移乗時

フロントグリップを外側に開き、次にアームサポートを後方に跳ね上げる。



## 注意

- フロントグリップを外側に開いてから、アームサポートを跳ね上げてください。フロントグリップを開かずにアームサポートを跳ね上げると、体に当たり、ケガ等の原因となります。



していただく



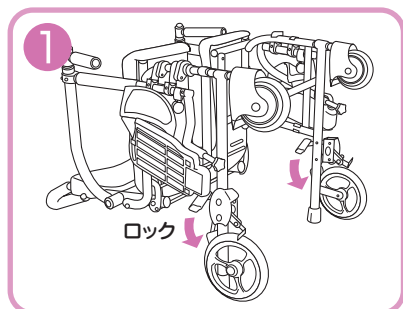
## 座面の高さ調整

\*対応機種:トイレキャリー

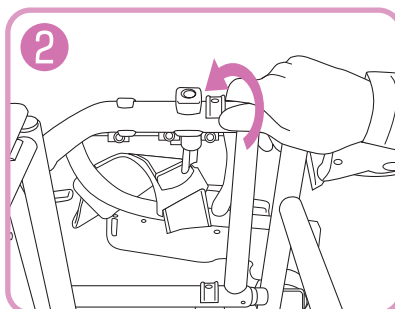
- 便器の高さに合わせて、座面の高さを調整していただけます。(作業は平らで安全な場所で行ってください)
- 対応できる便器の高さは、380~440mmの4段階です。(20mmピッチ)

① トイレキャリーを後方に倒し、スイングアウトを開く。

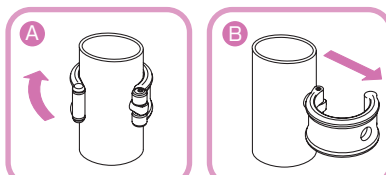
\*デラックスタイプの場合は、後輪をロックする。  
→P14 7インチキャスターブレーキ ロックの仕方



② 4箇所の高さ調整ピンを外す。



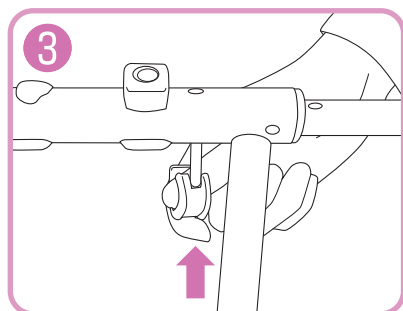
### 高さ調整ピンの取り外し方



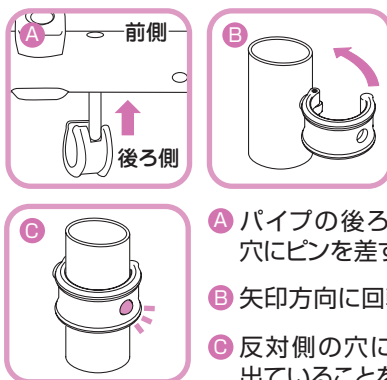
A 指を引っかけて矢印方向に回転させる。

B 引き抜く。

③ 便器の高さに合わせて穴位置を合わせ、4箇所の穴に高さ調整ピンをはめる。



### 高さ調整ピンの取り付け方

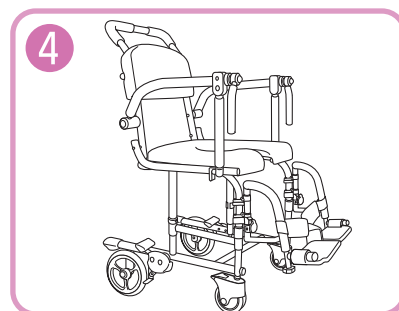


A パイプの後ろ側から、穴にピンを差す。

B 矢印方向に回転させる。

C 反対側の穴にピンの頭が出ていることを確認する。

④ スイングアウトを戻し、トイレキャリーを起こす。



## 警告

- 座面の高さ調整後、また、使用前は、4箇所の高さ調整ピンが、確実にロックされていることを確認してください。  
シャワーキャリー・トイレキャリーがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

## 警告

- 4箇所共、同じ穴位置でロックピンを固定し、座面高さが同じになるようにしてください。

していただく

# 使用方法

## 警告

●ご使用前には、必ず、次のことを確認してください。

守らないと、ご使用中、可動部分が動き、転倒・転落事故等の原因となります。

- ・バックサポートが確実にロックされていること
- ・座パットが確実に固定されていること
- ・背パットが完全に固定されていること
- ・フットサポートが完全に固定されていること
- ・座面の高さ調整ピンが4箇所とも確実に、ロックされていること(トイレキャリーのみ)

していただく

## 警告

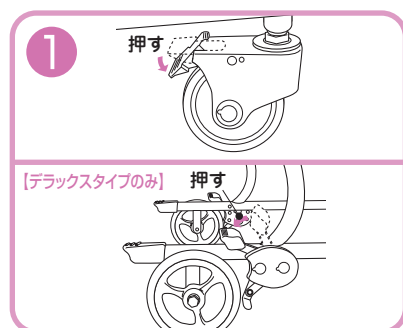
●シャワーキャリー・トイレキャリーの乗り降りの際や、作業時は、平坦な場所で行ってください。

シャワーキャリー・トイレキャリーが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

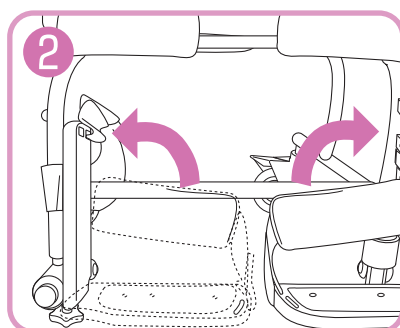
していただく

## 乗り方

① 乗り移る前に、キャストをロックする。

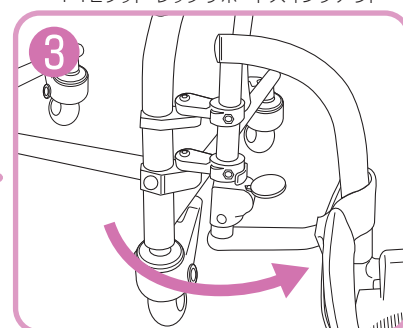


② フットサポートを跳ね上げる。



③ フット・レッグサポートを開く。

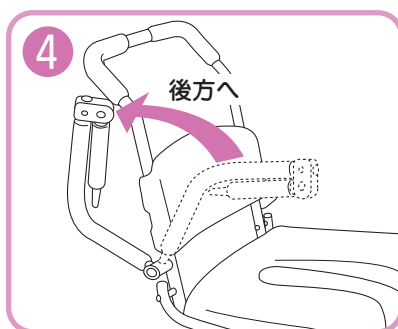
→P12フット・レッグサポートスイングアウト



④ アームサポートを  
後方へ跳ね上げる。

→P11アームサポート  
<アームサポートの跳ね  
上げ方>

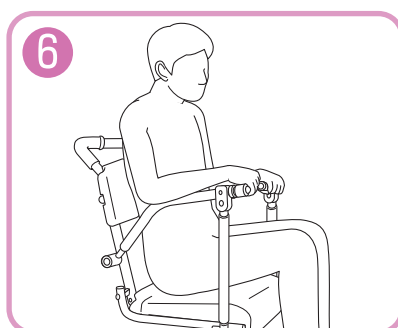
※フロントグリップ装  
備車の場合は、  
④前に、フロントグ  
リップを外に開く。  
(デラックスタイプのみ)  
→P15フロントグリップ



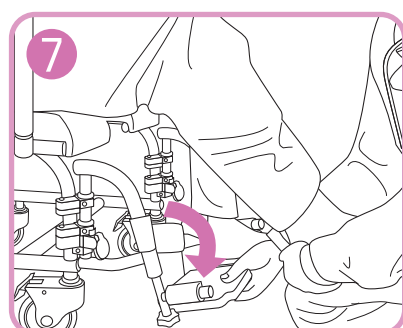
⑤ 介助者が、使用者の身体を支える  
などして、シャワーキャリー・トイレ  
キャリーに移る。

⑥ アームサポートを  
下ろして、ロックする。

→P11アームサポート  
<アームサポートのロック  
の仕方>



⑦ フット・レッグサ  
ポートを戻し、使  
用者の足を持ち  
上げ、フットサ  
ポートを倒して、足を  
乗せる。



## 警告

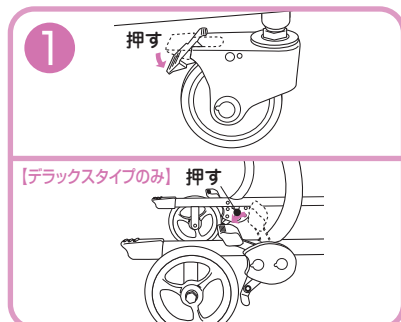
●使用時は、必ず、アームサポート、フット・レッグサポートが確実にロックされていることを確認して使用してください。

使用中、アームサポートやフット・レッグサポートが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

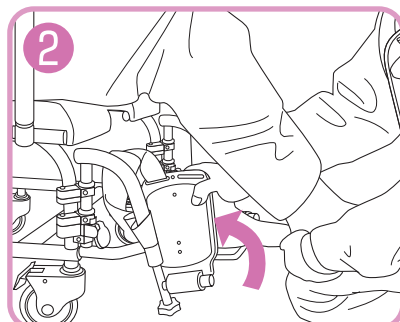
していただく

## 降り方

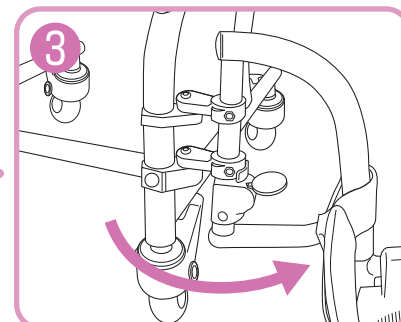
① 移乗前に、キャストをロックする。



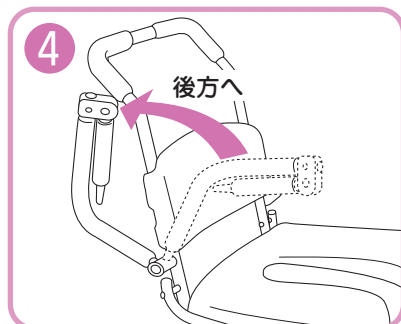
② 使用者の足をフットサポートから降ろし、フットサポートを跳ね上げる。



③ フット・レッグサポートを開く。  
→P12フット・レッグサポートスイングアウト



④ アームサポートを後方へ跳ね上げる。  
→P11アームサポート<アームサポートの跳ね上げ方>



⑤ 介助者が、使用者の身体を支えるなどして、ベッド等に移る。

**警告**

●フットサポートの上に足をのせて乗り込んだり、降りる時、フットサポートの上に立ち上がったりしないでください。シャワーキャリー・トイレキャリーがバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。

してはいけない

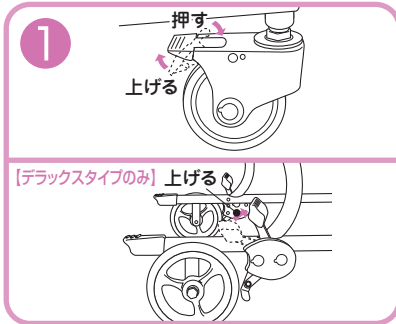
**警告**

●乗り移り時は、必ず、キャストがロックされていることを確認してください。  
不意にシャワーキャリー・トイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

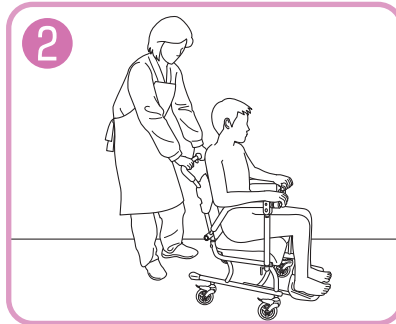
していただく

## 移動の仕方

① キャスタのロックを解除する。



② 押手を押して移動させる。



※移動中、段差がある場合は、ティッピングレバーを使用する。  
(デラックスタイプのみ)  
→P14ティッピングレバー

### 警告

- スタンダードタイプのシャワーキャリー・トイレキャリーでは、段差のあるところ（敷居を含む）では使用しないでください。  
スタンダードタイプは、段差を乗り越える設計をしておりませんので、不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

してはいけない

### 注意

- 移動中、つま先が障害物に当たらないように確認して移動してください。  
ケガ等の原因となります。

していただく

### 注意

- フットサポートに足が乗っているか、足が床に触れていないか確認して移動してください。  
ケガ等の原因となります。

していただく

### 注意

- 敷居程の段差を超えるようなところでは使用しないでください。  
シャワーキャリー・トイレキャリーがふらつき、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### 警告

- スロープ等、傾斜のある所では使用しないでください。  
ケガ等の原因となります。

していただく

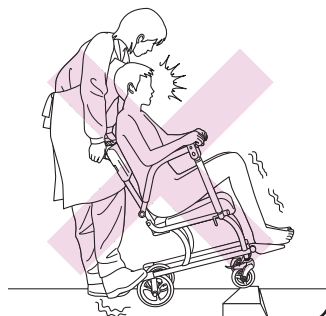
### 警告

- フットサポートの長さは床面より40mm以上の高さを確保してご使用ください。  
敷居等の段差にフットサポートやノブボルトが引っかかり、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### 警告

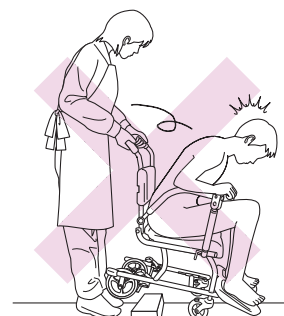
- ティッピングレバーを踏んだ時、前輪を100mm以上浮かさないでください。  
重心が後方に移って、シャワーキャリー・トイレキャリーが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。



してはいけない

### 警告

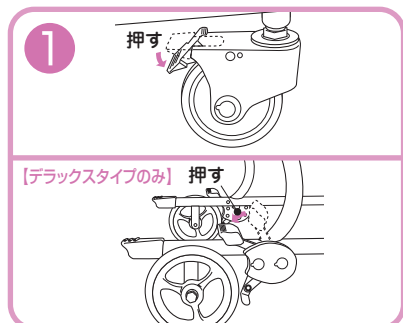
- 後輪が段差を乗り越える時に、後方を持ち上げないでください。  
使用者が前方に傾き、転倒・転落事故等の原因となります。



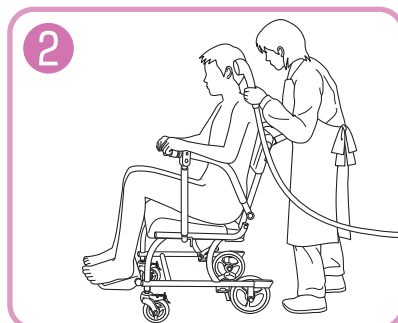
してはいけない

## 浴室での使い方

- ① 浴室に入り、作業の前に、キャストをロックする。



- ② シャワーキャリーに乗ったまま、シャワーを使う。



### ⚠ 注意

- 温泉水や硫黄系の入浴剤を入れた水はかけないでください。本体の腐食による破損、またそのことによる使用者や介助者のケガ等の原因となります。

してはいけない

### ⚠ 警告

- 浴室での使用時は、平坦な場所で作業してください。傾斜がある所では、シャワーキャリーが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### ⚠ 警告

- 浴室での作業時は、キャストをロックしてください。不意にシャワーキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

### ⚠ 警告

- シャワーキャリーを浴槽（水中）に沈めて使用しないでください。本体の腐食による破損、また、使用者や介助者のケガ等の原因となります。

してはいけない

### ⚠ 警告

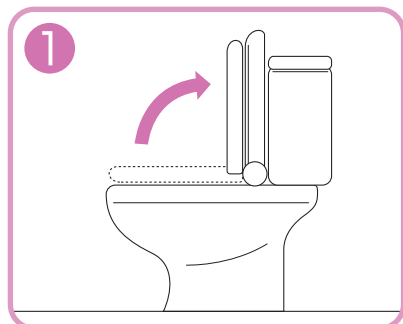
- 必ず、介助者が付き添って使用してください。転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

## トイレでの使い方

\*対応機種: トイレキャリー

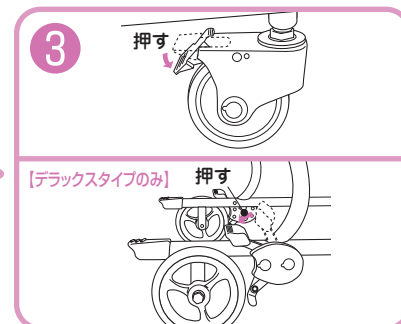
- ① トイレに近づく前に、便フタと便座を開け、立てておく。



- ② トイレキャリーに乗ったまま、便器に近づき、出来るだけ奥まで押し込む。



- ③ 作業の前に、キャストをロックする。



### ⚠ 警告

- トイレでの作業時は、キャストをロックしてください。不意にトイレキャリーが動き、転倒・転落事故等の原因となります。

していただく

# もしこんなトラブルが発生したときは

■シャワーキャリー・トイレキャリーを使用されていて、故障かなと思うトラブルが発生したら、修理を依頼する前に、下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
走行操作が重い	キャストの回転部分に、髪の毛等が巻きついていませんか	取り除いてください
	4インチキャストのブレーキ部分に、ゴミがたまっていますか	取り除いてください (→P13 4インチストッパー付キャスト)
ブレーキの効きが悪い	可動部分に、髪の毛等が巻きついていませんか	取り除いてください
バックサポートを起こしてもロックされない	可動部分に、髪の毛等が巻きついていませんか	取り除いてください
ロックレバーを持ち上げても折りたたみが出来ない	アームサポートがロックされたままになっていませんか	ニーサポートのロックを解除してください (→P9折りたたみ方)
背パットが固定できない	背パットの高さ調整レバーナットがゆるんでいませんか	高さ調整レバーナットをしめてください (→P10 A B)
座パットが固定できない	固定クリップの位置はあっていますか	固定クリップをパイプの位置に合わせてはめてください (→P10座パット)
	固定クリップが破損していませんか	取扱店にご連絡してください
かかとがキャストに当たる	レッグサポートが適切な長さに調整されていますか 長すぎて、たるんでいませんか	レッグサポートを適切な長さに調整してください (→P13レッグサポートの長さ調整)
トイレキャリーがガタつく	座面の高さ調整ピンは4箇所とも確実にロックされていますか	高さ調整ピンを4箇所とも確実にロックしてください (→P15座面高さ調整)

■トラブルがある際は、直ちに使用を中止してください。

## お手入れの方法

■本品はご使用后、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。

※汚れのひどい場合は、適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で拭き、汚れをきれいに拭き取ってください。

消毒する場合は、逆性石けんをうすめて使用してください。その後、きれいな水で、洗剤を洗い流してください。

■最後に、固く絞った布で水を拭き取り、日陰の通気性の良い所で乾燥させてください。

### ⚠ 注意

- 塩素系薬剤、酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジンによる殺菌・消毒や、温泉水・硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。  
パイプの腐食の原因や樹脂部品の劣化につながり、破損してケガをする原因となります。

してはいけない

### ⚠ 注意

- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は使用しないでください。  
樹脂部品が劣化または、破損してケガをする原因となります。

してはいけない

### ⚠ 注意

- 直射日光に当てないでください。  
樹脂部品が劣化(変形または変質)し、破損してケガをする原因となります。

してはいけない

### ⚠ 注意

- 熱湯をかけないでください。  
樹脂部品が変形し、破損してケガをする原因となります。

してはいけない

## 保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。  
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ ● 直射日光が当たるようなところ ● 湿気の多いところ
- 高温室になる場所 ● 炎天下になる場所 ● 水の中

## 保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)  
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
  1. 火災、天災による故障・損傷の場合
  2. 取扱説明書に記載の使用方法・ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
  3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
  4. キャスタの磨耗、ブレーキ、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
  5. 修理に要した運賃等の諸経費
- この保証書は日本国内のみ有効です。

## アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。